

ISPRS 第 8 部会シンポジウムのご案内

ISPRS(International Society for Photogrammetry and Remote Sensing : 国際写真測量とリモートセンシング学会)は日本写真測量学会との共催により、下記の国際シンポジウムを開催することとなりました。学会員のみならずには、積極的な論文投稿および学会参加をお願いいたします。

ISPRS は 1910 年に設立された ISP(the International Society for Photogrammetry:国際写真測量学会)が、1980 年に現名称に変更し活動を続けている写真測量、リモートセンシングおよび GIS に関する世界最大級の国際学会です。来年の 2010 年でちょうど設立 100 周年を迎えます。

ISPRS は次の 8 つの部会で構成されており、4 年毎に選挙により部会の担当国が決定されます。担当国はリーダーシップを発揮し、その分野を世界的にリードすることが期待されています。

部会に記載されている国名は、2008 年に開催された北京大会で決定された 2008-2012 年の担当国を示しています。日本は、リモートセンシングの応用を主なテーマとする第 8 部会において担当国に選定されました。部会長は東海大学下田陽久教授、副部会長は JAXA 堀川康技術参与が担当しています。

第 1 部会	画像データの取得-センサとプラットフォーム	(カナダ)
第 2 部会	空間情報の理論とコンセプト	(香港)
第 3 部会	コンピュータビジョンと画像解析	(フランス)
第 4 部会	地理データベースとデジタルマッピング	(アメリカ)
第 5 部会	近接センシング-解析と応用	(イギリス)
第 6 部会	教育とアウトリーチ	(オランダ)
第 7 部会	リモートセンシングデータの処理、モデリングおよび解析	(オーストリア)
第 8 部会	リモートセンシングの応用とポリシー	(日本)

ISPRS の本大会は 4 年に一度開催され、次回は 2012 年オーストラリア・メルボルンで開催されます。また大会の中間年(2010 年)に各部会のシンポジウムが部会担当国で開催されます。

日本が担当する ISPRS 第 8 部会は、2010 年 8 月に京都でシンポジウムを開催します。

さて近年、気候変動に起因すると思われる温暖化、自然災害、砂漠化、生物多様性の減少などさまざまな地球環境問題が発生しています。これらの状況と 2008 年秋に起こったリーマンショックによる世界経済の混乱は、我々人類の大量消費に依存した社会に警告を与えているように感じます。

ここで地球上の生命の歴史を考えてみましょう。大きく 4 つの年代に分けることができます。初めて生命が誕生した創造の年代、真核生物が誕生した再構築の時代、多種の動物が誕生した多様化の年代、そして人類が出現し、その活動が地球システムに大きな影響を与えている現在です。

人類が地球システムに与える影響は甚大であることは明白です。逆に、我々人類の行動によっては、人類を含むあらゆる生態系にとって理想的な地球環境を構築することが可能となるわけです。あくまでそれは我々の行動およびその意思によるのです。

我々が正確かつ適切な行動を選択するために、現在の地球の状態および人間社会を正確に理解する必要があります。そのためには、短期間から長期間の時間スケールで、さらに地球全体から詳細な地域まであらゆる地理スケールで、なおかつ連続した空間情報が必要です。リモートセンシングは、これら人間活動や地球環境の空間情報を提供する最も有効な技術のひとつと

いえます。

一方、地球環境問題はひとつの原因から発生しているわけではなく、さまざまな問題が複雑にからみあっています。個々の問題については専門家がおり、それぞれの専門領域内で問題解決の努力をしていますが、環境問題の本質は専門領域にまたがる問題もしくはその隙間にあります。そこに多くの問題が残されているのです。

これらの問題を解決するためには、それぞれの専門領域を俯瞰して考える必要があります、そのためには専門家同士が交わり、さまざまな議論をする必要があります。

本シンポジウムのテーマは” Networking the World with Remote Sensing”です。リモートセンシングや地理情報システムを含む地理空間情報工学を通じて、国内外の研究者・技術者が2010年夏の京都で会合することで何かが始まる、そのきっかけになれば幸いです。

シンポジウムの概要

テーマ : Networking the World with Remote Sensing

開催日 2010年8月9日(月)～13日(金)

場所 国立京都国際会館
〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池
<http://www.icckyoito.or.jp/jp/index.html>

参加費

一般

45,000円(2010年3月21日まで) オンライン登録

55,000円(2010年7月31日まで) オンライン登録

65,000円(2010年8月1日以降) オンサイト登録

学生・シニア (学生は30歳以下の学生、シニアは65歳以上)
20,000円

同伴者 (一般講演への参加は不可、同伴者プログラムあり)
15,000円

締切 アブストラクト提出 2009年12月31日
論文採択通知 2010年02月28日
論文提出 2010年05月31日

企業展示

企業展示を募集しています。興味のある企業はシンポジウム事務局までご連絡ください。

1小間2m×2mのサイズで計22小間を募集する予定です。

言語

論文執筆および論文発表はすべて英語でお願いします。通訳は用意いたしません。

ワーキンググループの構成

第8部会は以下のワーキンググループ(WG)から構成されています。本シンポジウムは、基

本的にワーキンググループを基本としてセッションを行います。その他、ワーキンググループをまたがるスペシャルセッションを企画しています。

- WG VIII/1 : 災害管理
- WG VIII/2 : 衛生
- WG VIII/3 : 大気、気候、気象
- WG VIII/4 : 水
- WG VIII/5 : エネルギー、固体地球
- WG VIII/6 : 農業、エコシステム、生物多様性
- WG VIII/7 : 森林
- WG VIII/8 : 陸
- WG VIII/9 : 海洋
- WG VIII/10: 氷圏

参加登録方法

下記のシンポジウム公式ホームページから参加登録をお願いします。ご要望がありましたら、シンポジウム事務局までご連絡ください。

ホームページ

ISPRS 第8部会シンポジウム公式ホームページ

<http://www.isprscom8.org/>

ISPRS 第8部会公式ホームページ

http://www.isprs.org/technical_commissions/tc_8.aspx

ISPRS ホームページ

<http://www.isprs.org/>

その他

詳細はシンポジウム公式ホームページを参照ください。現在のホームページはまだ記載されていないところがありますが、順次情報を追加し、参加登録、ホテルの予約などが可能となります。

連絡先

徳永光晴

ISPRS 第8部会シンポジウム事務局長

金沢工業大学 環境・建築学部環境土木工学科

〒921-8501

石川県石川郡野々市町扇が丘7-1

TEL : 076-248-4716

E-mail: mtoku@neptune.kanazawa-it.ac.jp